

平成 30 年 6 月 22 日

動物資源開発研究施設利用者 各位

動物実験委員会委員長

中潟 直己

動物資源開発研究施設利用者からの血清提出の一時停止について（通知）

標記のことについて、これまで動物資源開発研究施設では、ハンタウイルス感染による腎症候性出血熱の発生防止のため、「熊本大学における実験動物に由来する腎症候性出血熱の発生防止等に関する安全管理細則(平成 23 年 3 月 28 日細則第 10 号)」を制定し、運用として施設利用者全員に対して血清の提出を義務づけておりました。

しかしながら、現在では施設の改善、飼育販売業者によるウイルスの事前チェックと感染排除策により、感染症法が施行された平成 10 年 12 月 28 日以降、国内で患者発生は確認されておらず、国内の動物実験施設においても、利用者全員に対し、血清の提出を義務づけているところがほとんどないことを鑑み、平成 30 年 6 月 13 日開催の動物実験委員会において審議した結果、施設利用者からの血清提出を一時停止することとなりましたのでお知らせいたします。

ご不明な点等ございましたら、下記担当までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

【担当】

黒髪地区：研究・産学連携部

研究推進課 総務企画担当

(内線) 3242

本荘地区：生命科学先端研究事務課

センター事務チーム

(内線) 6205

E-mail:doubutsu-jimu@jimu.kumamoto-u.ac.jp

熊本大学 生命資源研究・支援センター

動物資源開発研究施設 本館【実験動物分野】

(旧：病態遺伝分野 *分野名が変わりました)

井村 みさえ

(内線) 6550